

静岡県身体障害者福祉情報 第8号

【役員対象情報紙 発行部数:100部 年4回(6月・9月・12月・3月)下旬発行】

発行 社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
TEL:054-252-7829 FAX:054-255-2011
E-mail:syougaisya@za.tnc.ne.jp
発行日 平成23年3月31日

東日本を襲う巨大地震 衝撃が全国に広がる！！

このたびの東北地方太平洋沖地震、ならびに甲信越地方・静岡の地震により被災された方々に、謹んでお見舞いを申し上げます。また、お亡くなりになられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

さて、去る2011年3月11日(金)に三陸沖を震源にマグニチュード9.0の大地震が東日本を襲いました。日本国内観測史上最大、世界でも4番目に大きい地震となり被害者数も2万人を越えています。連日テレビでは信じられない光景や被災された方達の避難生活などの様子が放送されています。

そんな中、3月15日(火)深夜には東部地区でも最大震度6強の地震が起きました。実際に東海地震が起こったらと、防災意識がより一層強くなったと思います。

今一度防災知識を高め、日ごろから備えておきましょう！

普段から備えておくことー災害が起きた時に慌てないためにー

・自分に合った情報の入手方法を選んで用意しておきましょう

ラジオ・テレビ・電話・FAX・インターネット・文字放送付きラジオ

・緊急時に役立つ連絡方法や連絡先、相談先をまとめておきましょう

ケガや病気で動けない・・・笛やベルなど音の出るものがあれば、自分がどこにいるか知らせることができます

火が出た、ケガ人がいる・・・まわりの人や消防署に知らせましょう

家族に無事を知らせたい・・・電話がかかりにくい時は災害用伝言ダイヤル171が便利です

災害後のことを相談したい・・・どんな時、誰に相談するか普段から考えておき電話番号と一緒にメモしておきましょう

・非常持ち出し品一本当に必要な物だけを選び、段階別に分けておきましょう

一次持出品

ヘルメットなど安全に避難するためのものと非常食、ラジオ、薬、預金通帳のコピーや現金、生理用品など、ないと困るもの

二次持出品

余分の飲料水や食品、衣類、毛布、携帯トイレなど、あると便利なもの

日頃から用意しておくもの

薬や防災カードなど自分にとって大切なものは、ふだんから身につけておきましょう

自分が必要だと思うもの

予備の杖や補聴器、筆記用具など「これがあればいいな」と思うものを用意しておきましょう

・どこへ、どの道を通って逃げるのか確かめておきましょう

非難訓練に参加しよう・・・まわりの人に自分の状態や、いざという時の救援方法を知ってもらうことができます

自宅や職場で災害にあったら・・・一次避難所はどこか、避難するとき、どの道を通って行くか2通り以上の道を調べておきましょう

家族とはぐれた時のために・・・災害がおさまった時に、家族が集まる場所を前もって決めておくことと連絡がとりやすいし安心です

インターネットによる防災情報は、下記のホームページで提供しています。

・静岡県地震防災センター <http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/>

・静岡県危機管理局 <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>



各ブロックの特色が光る！身体障害者相談員自主研修会

県身体障害者相談員連絡協議会では、相談員の資質向上を目指して、年1回各ブロックで相談員自主研修会を行っています。今年度、県下3会場で開催された研修内容についてご紹介します。

東部ブロック

日時：平成22年10月15日（金）10:30～15:00

会場：函南町中央公民館

内容：講演「障害者にやさしい宿をめざして」ホテル天坊支配人 佐藤 俊幸氏

講演「認知症サポーター養成講座」社会福祉法人三保会ひだまりの郷 山本 宏明氏

「認知症にならないためのリラックス体操」社会福祉法人三保会ひだまりの郷 川端 和枝氏

1日を通して、ふたつの講演と手先を使った体操等を行い、盛り沢山の内容でした。相談員の高齢化も進んでいるため、あまり難しくない内容で、以前のように午前中は事例発表、午後は講演という方が良いようにも感じました。

また、東部ブロックには約170名の相談員がおりますが、実際に研修会に参加しているのは120名程度というのが現状です。このような状況に対する改善策もこれから考えていく必要があるのかもしれませんが。

(河津町・相馬 充)



中部ブロック

日時：平成23年2月12日（土）10:00～13:15

会場：焼津市老人福祉センター

内容：講演「共に歩く ～聴く～」

宝泰寺住職 藤原 東演氏

私達は、人間関係が拡大する時に幸福と感じ、上手くいかない時は、悲しみ、寂しさを感じます。体の不自由さはあっても、素晴らしいものがあります。それは、「人の心の優しさ」です。私達は、人に話を聴いてもらうことで、自分の存在を維持していけるのです。

最後は、先生が資料として用意して下さった『最後の治療』という詩を全員で朗読して終わりました。

講話後には各相談員から「今後の人生に活かしていきたい」「大変有意義な内容だった」と声がかかり、好評でした。

(島田市・三村 文次)



西部・浜松ブロック

日時：平成23年2月20日（日）10:00～15:00

会場：袋井市役所

内容：講演「障害のある人の就労支援に対する課題」

県障害福祉課就労支援班 金原 義男氏

演習「相談の場面で困っていること ～些細なことでも話してみよう～」

演習では、浜松の代表、そして西部ブロックの代表として小生が話をしました。約1時間、相談員の資質について話をさせていただきました。

1. 相談者の相談事は絶対秘密を守る。
2. 相談者の言われることをよく聴いてあげる。「そうですね」の相槌はよいが目の前でメモはとらない。
3. 相談者に満足とまではいかなくとも、ある程度納得して帰っていただく。お答えできないときは、市町の職員の助力を得る。

以上の3点について、小生の身近で起こったこと等の話をさせていただき、県身体障害者福祉会漆畑次長のまとめで終わりました。有意義な1日であったことを述べて、参加者各位への感謝とお礼と致します。

(袋井市・黒柳 久夫)

